

毛髪伸長のポイントは毛根を支えるコラーゲン 毛乳頭のコラーゲン産生を促進するパウダルク樹皮抽出エキスを開発

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:東京都品川区、社長:岩崎泰夫)は、毛包のコラーゲンに着目し、毛乳頭のコラーゲン産生促進効果を有するパウダルク樹皮抽出エキスを開発しました。

毛包のコラーゲンは毛髪伸長において重要であると考えられています。パウダルク樹皮抽出エキスにより毛乳頭細胞のコラーゲン産生を促進することで、結合織性毛根鞘を強化し、育毛効果につながるものと想定しています。

結合織性毛根鞘とは

毛包の構造を詳細にみると、「結合織性毛根鞘」(図1)が存在しており、その中にはコラーゲンが観察されます。毛包は、あたかもコラーゲンの鞘の中に納められているかたちとなっています。結合織性毛根鞘は毛髪の伸長をガイドする重要な役目を果たしていることが知られており、結合織性毛根鞘の構造がしっかりしていることが育毛において重要であると考えられています。一方、毛乳頭細胞はコラーゲン産生をしていることが最近知られてきました。これらのことから、我々は結合織性毛根鞘のコラーゲン構造には毛乳頭細胞のコラーゲン産生が重要であり、毛乳頭細胞のコラーゲンを増やすことが新たな育毛効果へつながると考えました。

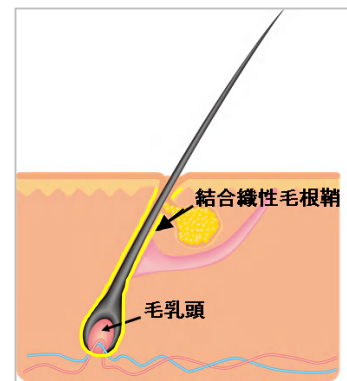
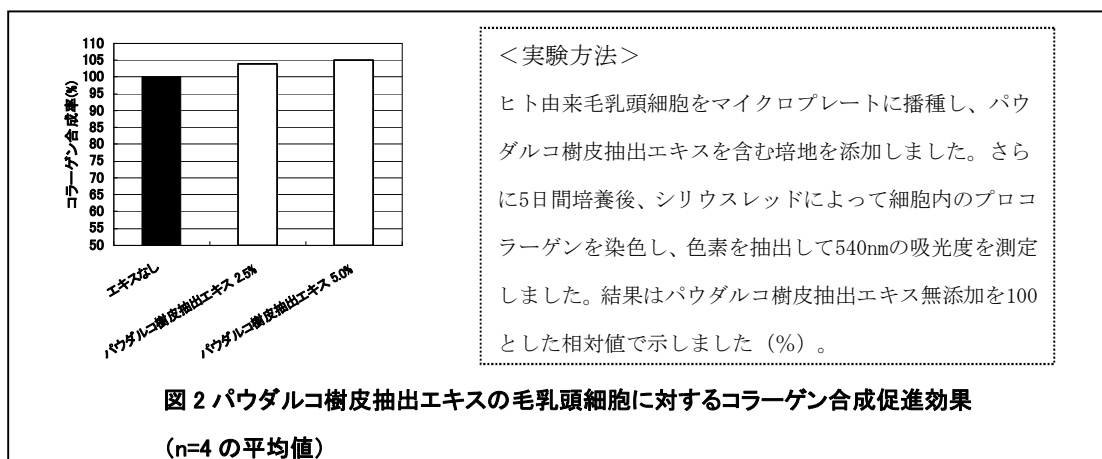


図1 毛包の構造(イメージ)

毛乳頭細胞のコラーゲン産生促進パウダルク樹皮抽出エキスを開発

我々は結合織性毛根鞘のコラーゲンを増やすことを目的に、毛乳頭細胞のコラーゲン産生促進を行う素材の探索を行いました。その結果、パウダルク樹皮抽出エキスに濃度依存的にコラーゲンの合成を増やすことが分りました(図2)。



本研究で得られた成果は、ポーラ・オルビスグループの株式会社ポーラから今夏発売する頭皮用薬用化粧品(育毛剤)に活用予定です。

【本件に関するお問い合わせ先】(株) ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室
Tel 03-3563-5540/Fax 03-3563-5543

【参考資料】

パウダルコ樹皮抽出エキスとは

パウダルコ樹皮抽出エキスは、南米ブラジル、アマゾン川流域に自生するという大きなパウダルコの樹皮からの抽出液です。パウダルコ(学名: *Tabebuia impetiginosa*)は高さ20~30m、直径1~1.5mにもなる広葉樹で、その大きさ・美しさからブラジルの国樹となっています(図 3)。その樹皮を煎じたものは、古代インカ帝国の時代より愛飲され、インカ帝国の歴史上疫病が流行ったことのないことと関係があると言われていいます。南米の原住民達はインカ帝国が滅んでも祖先からの言い伝えで疫病を治す力がこの植物にあることを知り、「神からの恵みの木」と呼んで、その樹皮を煎じてお茶として飲んできました。



図 3 パウダルコ